

東京電力における廃炉人材育成の取組

～原子力人材育成センターの活動について～

2017年12月12日
東京電力ホールディングス株式会社

- 福島事故において過酷事故対策が不十分であった要因
=「**安全意識**」、「**技術力**」、「**対話力**」の不足
- 福島復興の責任を果たすためには「**不断なく安全レベルを合理的に高める意識**」を維持し続け、組織内に強固に定着させることが重要
- 「**安全意識**」、「**技術力**」、「**対話力**」を向上させていくための基盤は人財育成
- 「人財への投資を効果的に行う組織」として「**原子力人財育成センター**」を設立

**安全
意識**

技術力

対話力

人財

「安全意識」、「技術力」、「対話力」を向上させ、「不断なく安全レベルを合理的に高める意識」を維持し、継続的改善を進める基盤となるのは「人財」



原子力人財育成センターの設立（H28.12.19）

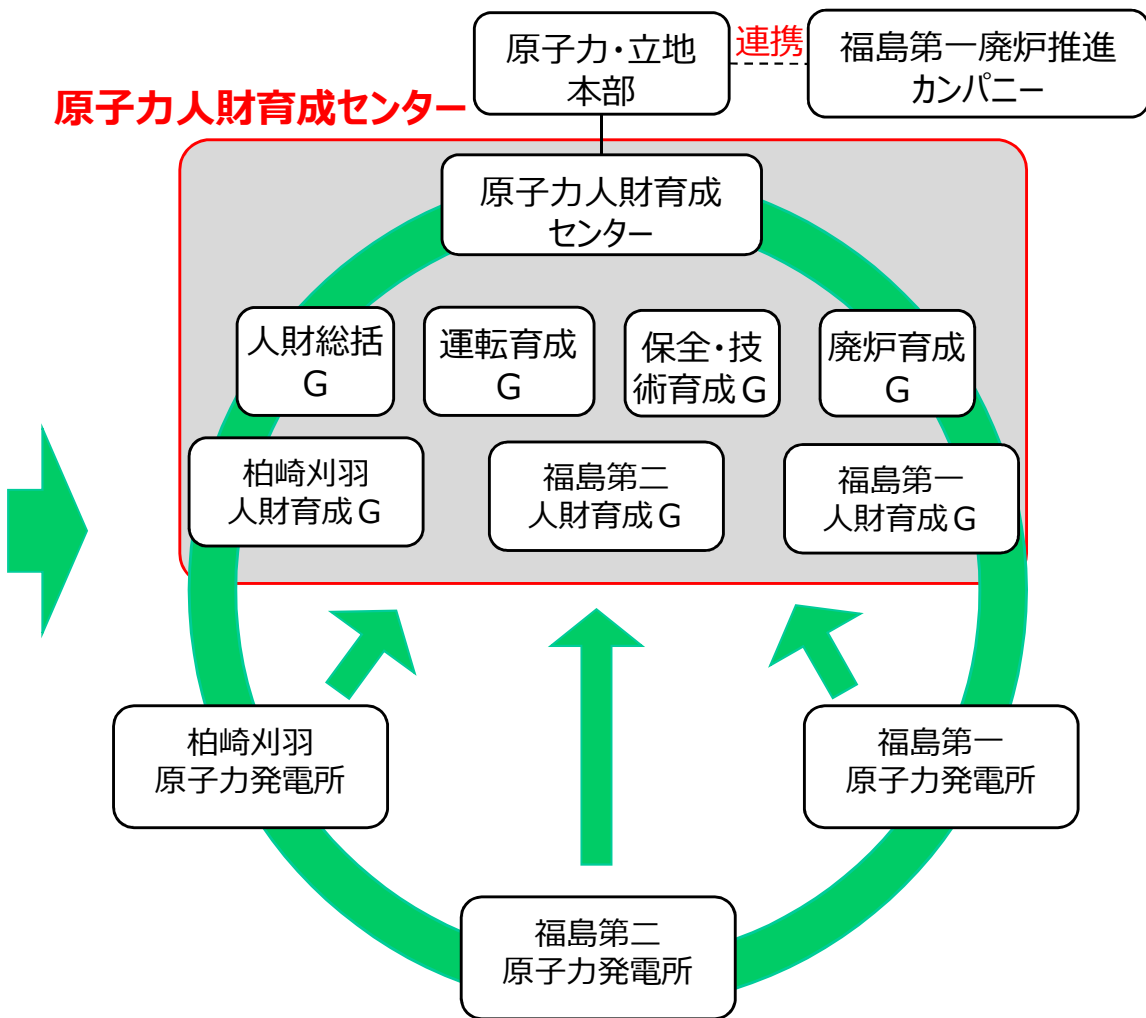
- 原子力・立地本部長直轄の組織として設置し、機能および体制の集約により効果的な教育訓練を推進
- 体系的な教育アプローチ（SAT）に基づき、廃炉も含めた原子力部門全体の人財育成に必要な教育訓練プログラムを提供

- 原子力発電所ごとに分散していた人財育成の機能および体制を本社に集約
- 発電所主体で回していた教育訓練プログラムのPDCAを、原子力人財育成センターが中心となって実行

【センター設立前】



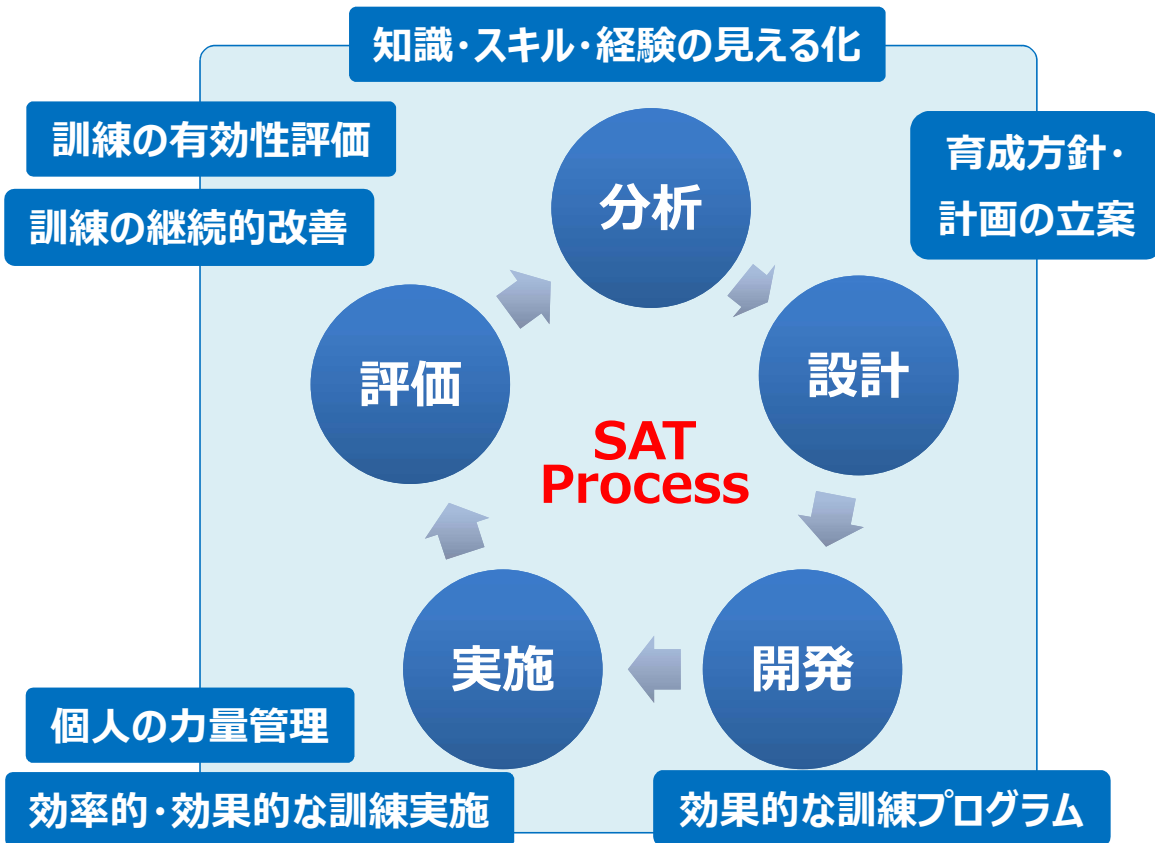
【センター設立後】



3.原子力人財育成センターの主な取り組み

●体系的な教育アプローチ（SAT）に基づき、廃炉も含めた原子力部門全体の人財育成に必要な教育訓練プログラムを提供

■体系的な教育アプローチ



■教育訓練体系マップ(一例)

マネジメント力向上研修									
技能認定S級									
運転		保全		安全		保安		燃料	
反復教育	専門教育	反復教育	専門教育	反復教育	専門教育	反復教育	専門教育	反復教育	専門教育
技能認定A級									
運転A級		保全A級		安全A級		保安A級		燃料A級	
技能認定B級									
運転B級		保全B級		安全B級		保安B級		燃料B級	
技能認定C級									
新入社員教育									

共通教育

3.原子力人材育成センターの主な取り組み（廃炉）

- 「汚染水対策」、「燃料取り出し」、「燃料デブリ取り出し」、「廃棄物対策」に関わる廃炉特有の技術についても、「基盤技術」「水処理」「燃料」「廃棄物・除染」の教育訓練講座を設け、技術力の維持・向上を図る

■ 教育訓練体系マップ



■ 廃炉特有の技術に関する教育訓練

- 基盤技術
 - ・線量測定（線量率、表面汚染密度、ダスト濃度）
 - ・水質管理方法
 - ・配管設計 ・通信ネットワーク設計技術
 - ・状態監視（CBM）の測定・評価方法 等
- 水処理
 - ・ 滞留水処理方法 ・ 建屋内水位制御
 - ・ セシウム・ストロンチウム除去装置 等
- 燃料
 - ・ キャスクの基本設計
 - ・ PCVガス管理設備の構造
 - ・ SFP循環冷却設備の構造
 - ・ デブリ取出方法の考え方 等
- 廃棄物・除染
 - ・ 吸着塔吸着材保管・処理・処分方法
 - ・ 遠隔操作除染ロボット 等



- 原子力人財育成センターは、発電所からのニーズを積極的に吸い上げ、必要とされる教育訓練プログラムを提供
- 発電所は、人財育成の重要性を認識し、単に教育訓練プログラムを受講するだけでなく、教育訓練プログラムの改善提案、講師の提供等の教育環境の場に積極的に関与
- 原子力人財育成センターと発電所の双方の取り組みによって、関係者の能力を高め、廃炉業務の品質向上を図る

